

環境マネジメントシステム導入報告書

( 宛 先 ) 京 都 市 長	平成 24年 7月 31日
報告者の住所(法人にあっては、主たる事務所の所在地) 京都市下京区塩小路通堀川東入南不動堂町801番地	報告者の氏名(法人にあっては、名称及び代表者名) オムロン株式会社 代表取締役社長 山田 義仁

京都市地球温暖化対策条例第22条第2項の規定により報告します。	
環境マネジメントシステムの名称	ISO14001:2004(JIS Q14001:2004)
適用 範 囲	オムロン株式会社 京都事業所
導 入 年 月 日	2001年 4月 3日
認 証 番 号	1188375-1189005
基 本 方 針	オムロングループの社憲・企業理念に基づき、国際社会の一員としてCSRを深く意識し、社会にとって有用な商品を提供することを、最小限のヒト・モノ・カネ・エネルギーなどの経営資源で実現するため、G-EMSの環境方針を定め環境に配慮したグローバル事業活動を推進する。
環境に配慮した事業活動を自主的に進めていくための目標(以下「目標」という。)	2011年度目標 ■省エネルギー(CO2排出量削減) 2010年度実績比 1.5%削減 ■資源循環(廃棄物発生量削減) 2010年度実績値未満 ■省資源(OA紙使用量削減) 2010年度実績値以下
目標を達成するための取組の内容	■省エネルギー(CO2排出量削減) ・省エネ対策実施に伴う空調制御・CGSの最適化運転・館内照明間引き・TV便座、ファシリティの一時停止・夜間外灯消灯・自販機電源OFF ■資源循環(廃棄物発生量削減) ・排出内容の随時チェック・持ち帰り・分別廃棄の徹底 ■省資源(OA紙使用量削減) ・両面、集約コピー・社内配布資料の削減
目標を達成するための取組の進捗状況	■省エネルギー(CO2排出量削減) ・夏季節電期間のみ自販機一部電源OFF実施・その他取組は継続実施中 ■資源循環(廃棄物発生量削減) ・各取組を継続実施中 ■省資源(OA紙使用量削減) ・各取組を継続実施中
目標を達成するための取組の成果及び当該成果に対する評価	■省エネルギー(CO2排出量削減) 2010年度実績比 97.2% ■資源循環(廃棄物発生量削減) 2010年度実績比 98.9% ■省資源(OA紙使用量削減) 2010年度実績比 97.5% いずれも2011年度目標を達成。
事業活動に係る法令の遵守の状況	環境関連法規の最新化および順守状況については、環境事務局が中心となり毎月確認を行っている。 またこれまで違反および行政からの指摘は受けていない。
環境マネジメントシステムの評価及び見直しの内容	ISO14001の要求事項に従い、毎年1月にマネジメントレビューを実施し、EMSの評価および見直しを実施している。2011年度は外部審査を受審し、環境影響評価方法について一部指摘を受けたため、2012年度から手順を見直すこととした。

注 認証番号の欄は、導入した環境マネジメントシステムについて第三者の認証を受けている場合にのみ記入してください。